



北緯40度東端の地球村

2010

12

No.583

広報

ふだい

12年前、くも膜下出血で倒れた私。
 左半身に障がいが残ってしまいました。
 でも、今は笑顔で前を向いて歩いています。
 家族、そして私を支えてくれた、
 たくさんの方がいたから…。
 生きていて、よかった。

【特集】
 茂子

～笑顔の向こうの明日へ～

日課の散歩の前に空を見上げる下道茂子さん（50＝上区）。12月9日撮影

主な内容	特集 茂子	2～9	学校保健大会、ふだいこの1年	14～15
	三船朋久さんに瑞宝単光章、村の話題	10～11	みんなのひろば	16～17
	議員視察研修、情報通信基盤整備の宅内工事	12～13	声・お便り、イラスト展	18～19



28歳の茂子さん。大のお祭り好きで毎年参加していました。そして37歳になった彼女を突然、病魔が襲いました

※くも膜下出血とは…

脳は3層ある膜で守られていて、くも膜下とはその一つ。このくも膜と脳との空間（くも膜下）にはりめぐらされた血管が痛んで切れると、くも膜下出血が起こり、「ハンマーで殴られたような痛み」「今までに経験したことがないような痛み」といわれるような激しい頭痛に襲われることが多い。日本人の死亡原因の上位は、がん・心臓病・脳卒中で、くも膜下出血は、脳卒中全体の約10%を占める。出血が起こると意識を失い、そのまま死亡するケースもある。

【特集】

茂子

～笑顔の向こうの明日へ～

「午後から手術します。しかし、よくても植物人間でしょう…」。家族に告げられた医師からの言葉。

下道茂子さん（50㉒上区）がくも膜下出血で倒れたのは、今から12年前の平成10年10月。37歳のときでした。

手術は成功し、何とか一命は取り留めましたが、左半身のまひ。

「夢であってほしい」「何で私が…」。

絶望の日々が過ぎていきました。

しかし、生きる価値を失った彼女を救ったのは、家族や仲間たちでした。

懸命なりハビリは「植物人間」を宣告された彼女を、

日常生活ができるまでに回復させました。

彼女は訴えます。

「この病気の怖さを知っていたら、1日早く病院に行っていたら…。悔やんでも、悔やみ切れません。だから、今、皆さんに伝えたい。

病気のサインを甘く見ていると、

私のようにある日突然、人生が変わることを…」。

突然、彼女を襲った病魔

「不幸は突然訪れる」とよくいいますが、私にはまったく関係ないと思っていました。あの日が来るまでは…。

そう振り返る茂子さん。

「でも、何となく思っていました。高血圧症の家系だから、いつか私も『あたる』んじゃないかって…。（普代では脳梗塞やくも膜下出血など脳の血管の病気をよく『あたる』と言います）」

今から12年前の平成10年10月30日の朝、茂子さんは突然「くも膜下出血」で倒れました。幸い家族の発見が早かったことから、すぐに救急車が到着し、県立久慈病院に搬送されました。何とか手術をし一命を取り留めましたが、左半身にまひが残り、左手足が動くことはなかったのです。

子育ても、自分の人生もまだまだこれからという37歳の時でした。

車酔いをしたようだった

当時の茂子さんは、家事に仕事にスポーツにと、何でもバリバリとこなし、育ち盛りの3人の子どもと、村漁協に勤める夫の勇次さん（当時38）の5人で暮らしていました。長女の千種さんは高校1年生、長男の俊輔君



暗く長いトンネルの中にいた茂子さん（中央）を家族は支え続けました（平成11年3月21日、県立久慈病院）

は普代中の2年、二男の峻聖君は普代児童館に通う毎日。念願のマイホームも完成し、楽しく暮らしていたときでした。

「午前8時過ぎだったと思います。あの日もいつもどおりに朝ご飯を食べ、歯磨きをしました。そして、何だか車酔いをしたようになり、少し気持ちを落ち着かせていました。でも、いつもとは違う具合の悪さだったので、アルバイトを休む連絡をし、早く横になりたいと思っていました。そして私は洗面所から出た階段のところまで倒れ、そのまま動けなくなりました。」

心配させたくない、必死だった

茂子さんの記憶がはつきりしているのはここまで。学校に行こうと階段を下りてきた千種さんは、茂子さんの異変に気が掛り寄りました。「救急車を呼んで…」声を振り絞る茂子さん。出勤前だった勇次さんも気付き、急いで119番しました。

約3分後に救急車が到着し、茂子さんを県立久慈病院に搬送。勇次さんも保険証を持って後を追いました。薄れる記憶の中、「みんなを心配させたくない。意識だけはしっかりしよう」。茂子さんは必死でした。久慈病院に到着すると、すぐさま応急処置が施され、さまざまな検査が行われました。そして、医師の説明がありました。

●インタビュー 本音で話せる友



平成11年の冬、家族ぐるみで付き合っていた嘉藤さん(左)の自宅で

私にとって、大切な人だから

嘉藤 幸子さん (53=中央区)

病気になる前、茂子ちゃんが「頭痛がする」と言って病院に行ったことがありました。今思えば、そのときちゃんと検査をしていればよかったと思うんです。

家のことも、仕事も、子育ても難なくこなし、スポーツも得意。バレーボールやスキーも人一倍好きで、何でもバリバリやり、負けん気が強い人でした。そんな茂子ちゃんだから、ものすごく後悔し、どん底だったと思います。

忘れられないのは、夜中に集中治療室から電話がきたことです。私はビックリして「何した？ 元気でいたあ？」と聞きました。そしたら茂子ちゃんは、「手が無いの。左手が無いの…」と震える声で言ったんです。「何言ってるの、ちゃんとあるから」と私は強い口調で言いました。なぜか涙があふれて、止まりませんでした。

でも、私は1回もかわいそうだと思ったことはありません。「何とか元気になるってほしい。またみんなで遊びたい」。ずっと願っていました。茂子ちゃんが投げやりになっていたときは「体も曲がったけど、心も曲がったな」と言ったこともありましたが、私は彼女のことを大切に思っているから、何のちゅうちょもしませんでした。茂子ちゃんと勇ちゃんがぶつかったときも何度もあり、私が仲裁に入ったこともあります。でも、勇ちゃんは本当に頑張ったと思います。

茂子ちゃんは一生懸命頑張って歩いているし、家のこともやっているし、おしゃれもしている。そんな姿を見ると私もうれしいんです。今の自分を受け入れ、人生を楽しんでいるのでしょうか。これからもどんどんきついことも言うし、本音で付き合っていきたいと思います。私にとって茂子ちゃんは、大切な人ですから…。

医師から告げられた言葉は…

「くも膜下出血です。午後から手術をします。しかし、よくても植物人間でしょう…」。
覚悟はしていたものの、勇次さんに医師から告げられた言葉は残酷でした。しかし、選択肢はありません。

「先生、お願いします！」
午後1時から始まった手術は夜8時過ぎまで続きました。家族、親せき、仲間が次々と集まる中、「何とか助かってほしい。何とか…」。皆は必死で祈りました。



入院から47日目の12月15日、病室で家族と迎えた茂子さん38歳の誕生日

普通の生活ができなくなるのが、ただただ怖かった。

そうして手術は成功。集中治療室で人工呼吸器を付けられて静かに眠る茂子さん。「助かってよかった。本当によかった」。みんなが安堵の言葉を口にしました。

しかし医師は「出血が頭の中に広がったので、血管の外側が弱っています。また破裂するかも知れません。この1週間から10日がヤマです」。家族に緊張が走りました。

次の日、茂子さんの意識は戻りました。しかし、本人はまだ気付いてはいなかったのですが、左半身にまひが残り左手足は動きません。さらには眼球の裏に血の塊が残り、左目も見えなくなっていました。これからの生活、子どもたちのこと、本人のこと、いろいろなことが頭を巡り、家族らは涙が止まりませんでした。

甘くみていた病気のサイン

実は、茂子さんには病気のサインがありました。茂子さんは、以前に血圧が高めだったので、

気だつたころには戻れない…。出口のない暗く長いトンネルに入り込んでしまいました。

前を向いて歩こうなんて、思えなかった

絶望の日々が続いた茂子さん。「あのころ『あたり』は年を取った人がなるもので、後遺症が残ることも知らず、恐怖心すらありませんでした。ましてや若い人が…。完治することはないと分かったとき、本当にショックで気が狂いそうでした。」

病室のベッドで布団をかぶり、天国で見守る亡き父に祈る日々。「前を向いて歩こうなんて

一度久慈病院に行つて、血圧の薬をもらってききました。でも、どうも体に合わず止めていたのです。勇次さんは「ときどき頭が痛いと言っていたんです。あのとき、ちゃんと検査を受けさせていればよかった…」と悔やみます。

茂子さんが倒れた日から勇次さんは毎日、仕事が終わってから病院に通い続けました。硬い長い夜を明かし、病院から仕事に行く毎日が続きました。「すこいだなさんですね」。看護師さんも勇次さんの必死の看病に頭が下がる思いで、茂子さんに話したといいます。

その後、勇次さんらの看病のおかげで茂子さんは順調に回復。しかし、お見舞いに来る人来る人が、「助かってよかった、よかった」と口ぐちに言つて帰ります。「大したことでもないのに、思えませんでした。悔しくて、悔しくて…。雪が降つて来ると思うんです。『去年の今ごろはスキーに行つていたのに…』。投げやりになつて食事をひっくり返したり、薬も飲まず、もう何もかもがいやでいやでしょうがなかったんです。先生には『ストライキか』と言われました。神様、仏様は何を見てくれたんだろう。本当に何かにすがりたい思いでした。」

現実を目の当たりにした茂子さん。夢も希望も持たず、生きる価値すら失いました。「このまま車いすで階段から…。でも、そんな絶望のどん底にいた彼女をひたすら支え続けたのは、家族や親兄弟、仲間たちでした。」

辛い体験を語る茂子さん(自宅)





雫石から自宅に帰ってきたときのことを振り返る茂子さん

絶対、歩いて帰ろうと思った

少しずつ青空が広がり始めた茂子さんの心。まだ春も浅い平成11年の3月21日、久慈病院を退院する日がきました。そのとき、茂子さんは歩行するための「器具」を作り、雫石町の岩手リハビリテーションセンターに行くことを決めていました。そして、お世話になった医師や看護師に別れを告げ、家族に見送られながら、勇次さんと二人で雫石町へ向かったのです。

リハビリセンターでは、持ち前の根性でリハビリに励みました。「家も新築したばかりだったので、車いすじゃなくつえをついてでも絶対歩いて帰ろうと思いました。子どもたちも待つてくれている。私はいつまでもここにはいられない！」。そう強く誓いながら…。

そうして彼女は復活を遂げました。車いすで行ったりリハビリセンターでしたが、6カ月間で、つえをついて歩けるようになつたのです。

その間勇次さんも毎週のように、軽バスで雫石町まで通いました。「だんだん良くなつてい



茂子さんとリハビリセンターの実習生 (平成11年5月、雫石町)

よー、よぐなんじょー」と何度も何度も茂子さんに言いました。暗示をかけるかのように。「障がいを持つと家に閉じこもる人が多く、そうさせたくないという母ちゃんの思いがあつたと思います」と茂子さん。

「母ちゃんは、鶴鳥神社の例大祭や小学校の運動会など、自分が田楽屋を出店するたびに私を連れて行きました」。そんなサツさんも、脳梗塞に3度襲われ、現在は在宅で貢さん夫婦の介護を受けています。

「私は父親を早く亡くし、母ちゃん一人に育てられました。そんな母ちゃんが『外に出ろ、出ろ』と言うんです。母ちゃんを喜ばせたいという一心で、私は外に出て毎日毎日、歩きま

くのが分かりました。本人もやる気があつたら。うれしかったですよ。全てはかけがえない、大切な家族のためでした。

本当にお父さんはすごかった

「私がここまでこれたのは、いろいろな人たちのおかげです。でも、お父さん(勇次さん)と母ちゃん(中村サツさん)76(上区)には本当に支えてもらいました。そう話すとき茂子さんはしばらく遠くを見つめ、涙を浮かべました。

「お父さんはすごかった。久慈病院に毎日来てご飯を食わせてくれたり、身の回りのことをしてくれました。本当にすごい人だなあと思いました」。茂子さんの弟・中村貢さん(47(上区)も「あにき(勇次さん)の精神力はすごい。ただただ感謝」と言い切ります。

でも、勇次さんは話します。「お母さん(茂子さん)が倒れたとき川崎にいる姉さん(義姉・岩崎順子さん)に言われたんですよ『お前がどーは、なにーみで、だつたやー!』と。今でも心に残っています」。

母ちゃんがくれた「強さ」

入院中、母・サツさんも絶望の中にいた茂子さんを支え続けました。

サツさんは完治することはないと知りながらも、「退院したら一生懸命歩けば、よぐなんじょー」という母ちゃんの言葉を信じていたから…。

「退院した年のお祭りには、つえをついて参加しました。そしたら、電柱の陰から母ちゃんが、私の姿を見て泣いているんです。『よぐ出だ、よぐ出だ』って近くの人に言つて泣いているんです。2階のベランダに布団を干すと、『よぐ干した、よぐ干した』と日常のささいなことでもほめてくれたんです。それが私が進む力になっていました」。

これが私の人生なんだ!

「本当にみんなが心配して家に来てくれました。堀内のばあちゃん(義母)、じいちゃん(義父)、バレーの仲間…、本当にみんなに助けられました」。

でも、茂子さんに試練はまだありました。「リハビリセンターから自宅に帰ったころは、家事や掃除が思うようにできなくて、物を投げたり、暴れたり。家族もバラバラで泣いてばかりでした。でも、長男の俊輔のひと言で私は

母ちゃんの言葉、家族の言葉が、

私が前に進む力になっていた。

目が覚めました。『何でお母さんは頑張ろうとしないの!』。自分だけが不幸だと思つていました。でも、これが私の人生なんだ。そう思ったとき、私は強く誓いました。この子たちのためにも、頑張ろうと。

そしてまた彼女は毎日毎日、歩きました。イベントがあると出掛け、保健センターのリハビリ教室にも通いました。自分の人生を切り開くために…。

現在茂子さんは、炊事や洗濯など日常のことは、ほとんどこなせるようになりました。友達や姉・順子さんとも海外旅行にも行きました。週1回、久慈市の身体障害者療護施設「ひばり療護園」のデイサービスにも通っています。今は笑顔でしっかり前を向いています。



神奈川県にいる姉の岩崎順子さんが親、兄弟に作ってくれたアルバム。家族がそろうといつも写真を撮っているといいます(平成17年8月)

●インタビュー 療護施設の職員

茂子さんのように、前向きに生きたい

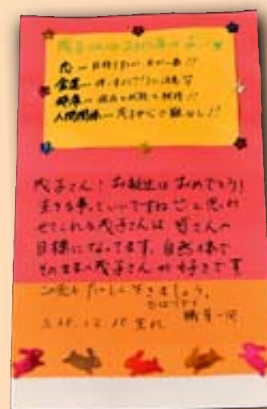
いつも思うのですが、茂子さんは、信念を持っている人だと思います。苦勞をしたんだあと本当に思います。茂子さんの元気な姿は、入所者の皆さんの目標になっています。こんな病気になったり、障がいを持ったりすると、だいたいの人は挫折します。でも茂子さんはこの苦難をチャンスに変えています。

茂子さんが来てから、利用者の皆さんも前向きに考える人が増えてきました。私たち職員にとって、皆さんが笑顔になっていくことは、とってもうれしいことなんです。私も茂子さんのように、前向きに生きたいと思っています。



身体障害者療護施設「ひばり療護園」

主任介護福祉士 高山久美子さん(57)



「ひばりデイサービス」の職員から茂子さんに贈られたクリスマスカード



少し遠回りをして、買い物に出掛ける茂子さん。たくさんの人に支えられ、ここまで歩んできました

茂子

あのととき感じた
暗く長い出口の見えない
トンネルに入った気持ちは、
今でもはつきりと覚えています。
あのとときの思いは
二度としたくないし、
ほかの人にも
させたくありません。
気付いてください、
病気を知らない怖さを。
知ってください、
ある日突然、
人生が変わることを。
大切にしてください、
自分の体、家族、命を。
みんなが、笑顔で
明日を迎えてほしいから…。

笑顔の向こうの明日

茂子さんは訴えます。「皆さんにこの病気の怖さを知ってほしい。そして、ある日突然、人生が変わるということ。今は脳ドックもありません。早く見つけて処置をすれば、障がいも残りません。私は皆さんが私のこんな姿を見て、『あんなになつてね』『おつかないね』と思ってしまうのではないかと思います。ある日突然障がい者になるということを考えてほしいんです。」

私は絶対あきらめませんでした。掃除、洗濯、炊事も頑張ってきました。そして徐々に家のことができるようになり、とても気持ちよかったです。『かたわ』でもここまでできるんだ。やっぱり私ですごい！ 明日は何をやるろう。明日は…って笑顔で明日を迎えられるようになったんです。」

生きていてよかったと、心から思う

「あのととき感じた、暗く長い出口の見えないトンネルの中に入った気持ちは、今でもはつきりと覚えています。あんな思いは二度としたくないし、ほかの人にもさせたくありません。私は運命に逆らうことはできなかつたけれど、12年たった今、『生きていて、よかった』と心から思っています。明るい出口を見つけ、ハッピーに暮らしています。」



村保健センター
長根真奈子 保健師

大事なことは、自分の体を知ること

今年の健診、皆さん結果はいかがでしたか？ 受けていない？ そんな人はもしかして、爆弾を抱えているかも知れませんよ。自分の体をまず知ること、これは避けて通ってはいけないこととお伝えします。

機械を長く使おうと思ったら、定期的なメンテナンスをするはずなのに、なぜか自分の体は使いたい放題で…。「根拠のない大丈夫」と「実は大きな不安を抱える毎日」だったりしているのではないのでしょうか。今の自分の体を知ること、体が教える赤信号に気付く力が備わるのではないかと考えています。

保健師という仕事に携わり28年がたとうとしています。この間きつく皆さんに受診を勧めることもありましたが、逆に多くのことを教えていただきました。茂子さんからのメッセージが皆さんに届いてくださることを願っています。健診会場でお会いしましょう。

この思い、届けたい（取材を終えて）

今回の特集「茂子」を企画するにあたり、心が揺れていました。今思えば、それは自分の中にある「障がいを持つ人」への過剰な意識でした。「何とか書きたい、たくさんの人に伝えたい」という思いと「こんなことを書いてもいいのだろうか。彼女の心を傷付けてしまったら…」と考える自分がいました。

しかし、思い切って訪ねると茂子さんは逆でした。「私は何とも思わないから、頑張ってください。私はずっとこの病気の怖さをたくさんの人に教えたいし、こんな思いをしてほしくない。それだけだから」と笑顔で取材に応じてくれました。

取材を進める中で、彼女の壮絶なりハビリと、彼女を支え続ける家族や親兄弟、そして仲間たち。「人って、こんなにも強くなれるんだ」「人って、こんなにも温かいんだ」。自然と勇気がわいてきました。

「あのととき、この病気の怖さを知っていれば、1日早く病院に行っていれば…」

茂子さんの悔やみ切れないどうしようもない思い。そんな経験を誰にもしてほしくないと訴える彼女。まだまだ書き切れない思いがありました。今回の特集でその全てに伝えられたとは思いません。

でも、そんな彼女の勇気あるメッセージが、ほんの少しでも皆さんに届いてほしい。そう願いながら、必死にメモを取る自分がいました。

村の民生児童委員 14人を紹介します

法務大臣から委嘱された村の民生児童委員14人が選任されました。任期は平成25年11月30日までです。民生児童委員は、心配事や困りごとなど、地域の身近な相談相手です。困ったことがありましたら、気軽にご相談ください。

(敬称略)

担当地区	氏名	電話番号
黒崎	森子 澄	35-2428
太田名部	太田 美江子	35-2666
旭日区	嵯峨 恵子	35-3321
中央区	佐藤 勲	35-2808
上区	銭袋 金也	35-3447
緑区	道下 美貴香	36-1005
白井	藤島 ミヤ子	35-2336
堀内(下)	上田 育代	35-2487
堀内(上)	坂上 賢治	35-2377
鳥居・力持	熊谷 裕子	35-2339
茂市	山崎 確己	35-2181
萩牛・芦渡	落合 正司	35-3587

担当地区	氏名	電話番号
全地区	吉田 順子	35-3312
全地区	佐々木 順也	35-3174

おわび

このたびの、固定資産税の未課税処理や国民健康保険税の課税漏れがあったことに対しまして、村民の皆さまに、大変なご迷惑をおかけいたしましたことをおわびいたします。

今後はこのようなことがないように管理を徹底いたす所存です。心よりおわび申し上げます。

普代村長 深渡 宏



12月5日、盛岡市で行われた審査会には普代小の児童が参加

30秒の手作りCMで古里自慢を競う「ふるさとCM大賞 in IWATE(નોટો)」。(岩手朝日テレビ主催、県など後援)が12月5日、盛岡市のいわて県民情報交流センター・アイーナで開かれ、村の作品「続・ふだいコンプ伝説」が特別賞(おもしろ賞)に選ばれました。昨年の金賞に続く2年連続の入賞です。

CMの内容は、前回のCMをテレビで見た子どもたちが、村特産品のすき昆布を食べ、みんながハッピーになっ ていくという伝説をテンポ良くまとめ、普代のコンプの魅力PRしました。小学生との合同制作で、出演、撮影など子どもたち自身も携わりました。出演した上向泰三君(普代小6年)は「大賞がほしかったです」と残念そうでした。ふるさとCM大賞には県内34市町村中、30市町村が参加。受賞作品は年間70回放送されます。

●審査会放送日時：12月25日(土)午後4時(岩手朝日テレビ)

地域の三鉄 上手に描けた

道下歌乃ちゃんが普代村長賞

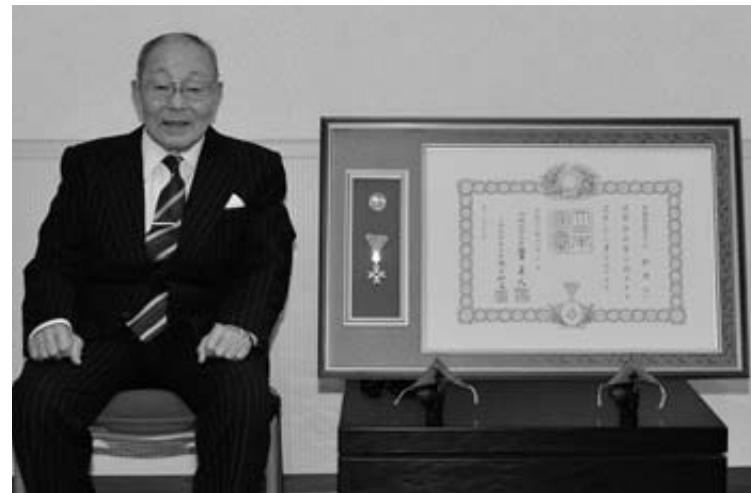


深渡村長から賞状を受け取る道下歌乃ちゃん

三陸鉄道(望月正彦社長)の「園児お絵かき列車」で、白井の道下歌乃ちゃん(普代児童館)の作品が普代村長賞を受賞しました。作品は、普代児童館年長組の園児と保護者ら44人が7月1日、三陸鉄道で宮古市の浄土ヶ浜に行ったとき描いたものを応募。絵画展には三鉄沿線などの9市町村から602点の応募がありました。応募作品は2月21日まで三陸鉄道の列車内に展示されます。

やったね! 「特別賞」

ふるさとCM大賞で2年連続入賞



「辛くもあり、楽しくもあった38年間」と振り返り、受章を喜ぶ三船さん

三船さんは「昭和36年5月のフロンティア火災では、火災の恐ろしさと、悲惨さを痛感しました。操法では号令を間違えたりもしましたが、辛くもあり、楽しくもあった38年間でした」と思い出を語っていました。

国税庁長官から 普代中に感謝状

澤口さんは県表彰



熊谷久慈税務署長から感謝状と記念品を受け取る後校長

普代中学校(後忠美校長)生徒84人にこのほど国税庁長官から感謝状が贈られました。伝達式は11月12日、同校体

育館で行われ、熊谷信太郎久慈税務署長から後校長に感謝状が手渡されました。「中学生の税に関する作文」では久慈税務署長賞に輝いた3年の立白翔大君が表彰されました。



(左手前から)澤口さん、嵯峨会長、立白君、(後ろ左から)後校長、中山君

税貯蓄組合の嵯峨初三郎会長から賞状が伝達されました。同校は税の作文を通して、昭和58年から28年間取り組み、全国入選するなど数々の受賞で税の啓蒙に努めています。

11月19日には、岩手県納税貯蓄組合連合会会長賞を受賞した2年の澤口未来さんと久慈地区納税貯蓄組合連合会賞に入賞した3年の中山翔太君の2人に、村納

コーラスライオット風 響け風のハーモニー



温かい歌声を響かせたコーラスライオット風の定期コンサート

「コーラスライオット風(森田真奈子代表)」の第22回定期コンサートが11月20日、村自然休養村管理センターで開かれました。コンサートには約100人の観客が参集。オープニングの「遠い日の歌」を皮切りに、「赤い花 白い花」「風が」など14曲を披露しました。コンサートには小学校統合記念として開かれた「ふれあいコンサート」で来村した坂

本博士さんから「今年6月、温かい交流が持てたことを懐かしく思う。ハーモニーが普代の大自然に、人々の心に響き渡ることを願っています」とメッセージが届きました。ステージ3では宮沢賢治の「雨ニモマケズ」を普代弁で群読。最後を飾ったステージ6では、普代中吹奏楽部(太田佳緒里部長、部員10人)が出演し6曲を披露。聴衆を魅了しました。

【役場総務課からのお知らせ】

普代村地域情報通信基盤整備事業（告知システム）

12/16から宅内工事を始めています！



器機リビングに置きました



こちらは文字用の告知端末

堀内機の坂上賢治さん宅に取り付けられた告知システム。音声用の告知端末は入庫待ちです。器機には電源が必要なため、コンセントに近いところがいいそうです。



外壁に付けたアンテナ

①アンテナを取り付けます！

※宅内の工事は下の図の5項目です。ご協力をお願いします！



②配線工事をします！

③ルーターを取り付けます！

④音声告知端末を取り付けます！
(縦18㌘×横17㌘)

⑤文字告知端末を取り付けます！
(縦17㌘×横20㌘)

※この工事にかかる住民の皆さんの費用負担はありません

※ただし年間100円程度の電気料がかかります。

●工事に関するお願い

- ◎告知端末を家の中のどこに取り付けるかお考えください。業者が事前に伺います。
- ◎工事業者は名札または腕章をしていますので、工事の前に必ずご確認ください。

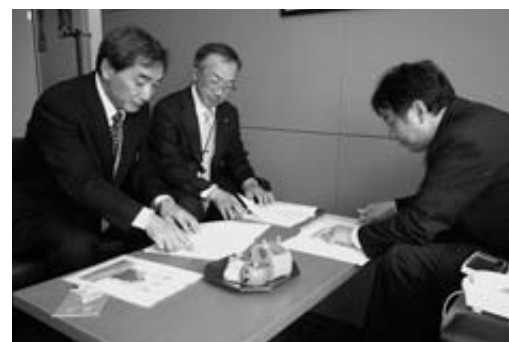


工事同意書をまだ提出していない方は、お早めに提出くださるようお願いいたします。用紙をなくした方は役場総務課（電話35-2111、内線114）にご連絡ください。

※工事スケジュールは12/16～堀内机、12/20～鳥居・力持、1/5～芦渡、1/11～堀内、茂市・萩牛、1/15～黒崎・太田名部・普代元村・白井



「普代会」では久しぶりに会う皆さんと親交を深めました



畑衆議院議員（写真上）と菊池衆議院議員（同下）に要望する中村議長と榎屋副議長

～ 議員研修旅行～ 水産物荷さばき施設 (富山県魚津市)を視察

国会議員に要望、普代会にも出席

村議会議員視察研修旅行は、10月24日から26日までの日程で行われました。中村裕議会議長ら議員8人と榎屋伸夫副議長が出席。富山県魚津市・魚津漁業協同組合の水産物荷さばき施設を視察するとともに、県選出国會議員に村の重点要望5項目を要望。また、ふるさと普代会に出席し、懇親を深めました。

畑、菊池両議員にお願い

10月24日は、都内で行われた「ふるさと普代会の集い」に出席。中村議長が「議員が大挙して出席しています。皆さまと親しく懇談いただければ幸いです」と挨拶。この後、

久しぶりに会う普代会の皆さんと親睦を深めていました。

翌日は、衆議院第一議員会館の畑浩治、菊池長右衛門両衆議院議員を訪問。中村議長と榎屋副議長が、村の当面する重点事項を5項目要望しました。議員らはこの後、国会議事堂を視察しました。



浜住参事（左から2番目）から説明を受ける議員ら一行。魚は黒いパレットの上に並べられます

魚介類、より安全に

10月26日は、富山県魚津市・魚津漁業協同組合の水産物荷さばき施設を訪問。全国に先駆けた高度衛生管理されたハサップ対応の荷さばき施設です。

一行は、同日午前5時に同施設を訪ねました。魚津漁業協同組合の浜住博之参事から、競りの状況や施設の概要の説明を受けた後、魚津漁業協同組合本所に戻り、質疑応答で理解を深めました。同施設は、鉄骨造り2階建てで、延べ床面積は5612㎡、事業費は約9億6000万円。新鮮な魚介類をより安全に安心して食べてもらうための拠点として、平成16年2



衛生的な活魚専用のエリアもありました



水産物荷さばき施設の外觀。密閉型構造になっています

月に本格稼働しています。ネズミ、鳥などの侵入や、風雨を防ぐため、密閉型構造を採用。競り場は高床式で、他のゾーンと分離し、外部の汚れを遮断していました。魚介類を直接床に置かないで、黒いパレットの上に並べられて、床にはごみ一つありません。においもなく清潔に保たれていました。施設内で使う海水も、沖合150m、水深30mのきれいな海水を、殺菌ろ過装置で殺菌して使用していました。施設開設後は、魚価も急激に上がっています。浜住参事は「ここまで徹底するのに1年かけて職員に理解してもらい、開設後は生産者の協力が大きいです」と話していました。



1村1校となった普代小での入学式(4月)

普代この1年

広報ふだいから拾った主な出来事

堀小・黒小を普小に統合 総合記念にコンサート 総合スポーツクラブ設立 本県初の「大津波警報」

※◎は管理センター、◎は役場、◎は社会体育館、◎は北緯40度運動公園野球場、◎はグラウンド



はまゆりスポーツクラブ設立総会(5月)



小学校統合記念「ふれあいコンサート」(6月)



本県初の大津波警報が出され住民が避難(2月)

- 1月** ▼太田名部市場初売式(5日) ▼成人式(同・◎、新成人32人出席) ▼新年交賀会(同・くさき荘、60人) ▼鶴島神楽巡業(9日・南回り) ▼消防団出初式(10日・170人参加)
- 2月** ▼監査委員に松葉明人さんを新任(6日) ▼除雪車2台を購入▼戸籍総合システム始動(15日) ▼南米チリ地震で本県発の大津波警報発令(28日)
- 3月** ▼津波記念日慰霊祭(3日・太田名部、60人が追悼) ▼堀内小閉校式典(21日・200人) ▼黒崎小閉校式典(22日・160人)
- 4月** ▼普代小入学式。1村1小に(7日) ▼村の平成21年度一般会計予算は21億750万円▼村消防団特別点検(25日・普代中◎ほか、250人参加。功労者を表彰) ▼堀内の佐々木一實さんが瑞宝単光章に(29日)
- 5月** ▼緑の村(こどもまつり)(4、5日)

- 6月** ▼中居齋・ツルさん夫妻が全農乾椎茸品評会で農林水産大臣賞に(11日) ▼初の子ども手当支給▼久慈地区中総体で普代中バドミントン部男子が団体、個人で12連覇(19、21日、久慈市ほか) ▼盛岡で初の普代フェア(21、27月4日) ▼小学校統合記念事業「ふれあいコンサート」(26日・◎) ▼全国スポーツ少年団軟式野球交流大会若手県予選で普代オーシャンズが準優勝(26、27日・岩泉球場) ▼村出身の銀次内野手(プロ野球・東北楽天ゴールデンイーグルス)本名・赤見内銀次が1軍昇格(29日)
- 7月** ▼体育指導委員の三船隆久さんが東北地区体指功労者表彰(9日) ▼参議院議員の通常選挙村の投票率68.29%(11日) ▼太田トクさんが100歳に(25日)
- 8月** ▼7回ビーチバレーボール大会(1日・普代浜、32チーム参加) ▼

- 9月** ▼ふだいまつり(3、5日) ▼久慈地区新人大会で普代中バドミントンが優勝(11、15日・久慈市ほか) ▼あすの普代村を語る会(2日、9日) ▼戦没者追悼平和祈願祭(6日・80人出席) ▼うねとり荘で夏まつり(7日) ▼56回村長旗野球大会(14、15日・◎ほか、黒崎Aチーム5連覇) ▼34回イーハートフトラリアル大会(28日・普代浜)
- 10月** ▼芦渡翔さん千葉国体重量挙げで7位入賞(4日) ▼ふだいまつりこと海産まつり(5日・太田名部漁港、3千人) ▼普代小で海つくり少年団を結成(6日) ▼食生活改善推進委員団体が厚生労働大臣表彰に(15日) ▼第22回東京ふるさと普代会総会(24日・東京都、70人出席)
- 11月** ▼平成21年度の一般会計決算額は37億4623万円▼村文化祭(5日、7日・◎) ▼村政功労者1人・納税功労に2組合1個人・税の作文入賞者10人を表彰、読書感想文20人を表彰(6日・◎) ▼交通安全村民大会(同、80人が参加。交通安全ポスターコンクールの入賞者15人を表彰)

第20回 普代村学校保健大会



図画・ポスターコンクールで表彰された児童

第20回村学校保健大会で表彰や講演 糖尿病、気を付けて！

子どもたちの健やかな成長を願い、第20回村学校保健大会が11月18日、普代小学校で行われました。
大会にはPTA関係者など約130人が参加。図画・ポスター・標語コンクールの入賞者42人とむし歯ゼロの児童生徒66人を表彰、紹介しました。
続いて、盛岡大学栄養科学部の熊坂義裕教授が、「生活


習慣病を考える」と題して講演し、熊坂教授は「たばこは1本吸うと15分寿命が縮まります。それを許可した日本は何十年か後におろかと言われるでしょう。糖尿病は生活習慣病の横綱。病気を正しく理解し、炭水化物の取りすぎや適度な運動を心掛けることが大切です」とアドバイスし、参加者は健康についての意識を高めました。
図画・ポスター・標語コンクールで表彰された児童生徒は次の通りです。(最優秀賞除く)

- 図画・ポスター標語表彰
- ◇図画・ポスター小学校低学年の部▼優秀賞 小丹樹希也(普代小1年) 石川大地(同3年) ▼佳作 上下一樹(同1年) 北田尊(同)中村泉(同3年) ◇同高学年の部▼優秀賞 道合勘太(普代小5年) 下道樹里(同)▼佳作 太田麗菜(同)及川愛(同)太田若那(同) ◇同中学校の部▼優秀賞 道上朋子(普代中1



糖尿病について説明する熊坂義裕教授

- 年)日向佳奈(同)▼佳作 中村郁美(同)森田真以(同)宮田珠李(同)
- ◇標語小学校低学年の部▼優秀賞 赤坂旺一郎(普小3年) 赤坂玲美(同)▼佳作 菅野凜(同1年) 野田口和奏(同2年) 石川大地(同3年) ◇同高学年の部▼優秀賞 谷地真鈴(普代小4年) 銭袋あかね(同6年) ▼佳作 嘉村魁人(同5年) 上下一総(同)及川愛(同) ◇同中学校の部▼優秀賞 太田拓希(普代中1年) 宮本輝弥也(同2年) ▼佳作 及川拓(同1年) 榎谷美祈(同)戸田智哉(同3年) ◇同保護者の部▼優秀賞 大上育子(普代小) 深渡まり子(同)▼佳作 上向幸生(同) 佐々木望(普代中) 正路百合江(同) (敬称略)

中学校の部	小学校高学年の部	小学校低学年の部	図画・ポスター・標語コンクール最優秀賞作品の紹介
 <p>榎谷 美祈さん (普代中1年)</p>	 <p>山田 百華さん (普代小5年)</p>	 <p>村尾 修祐君 (普代小1年)</p>	<p>こんぶうどん よくかんで脳も体も よろこんぶ 新田 望さん (普代小保護者)</p>
 <p>森子 椋太さん (普代中2年)</p>	 <p>畠山 楓さん (普代小4年)</p>	 <p>上方こももさん (普代小3年)</p>	

おとうさん
おかあさん
あのね... 283



かじゅちゃん(左)とふうかちゃん
(普代児童館 さくら組)

🍄 こやしきかじゅ (小屋敷香樹・6歳)
から母・恵里子さんへ

おかあさん、いつもおいしいおりょうりをつくってくれて、ありがとう。てづくりポテトチップスはすごくおいしいよ。きもののパーティーにいったとき、ごちそうがいっぱい、たのしかったね! また、つれていってちょうだいね! おてつだいするから、しゃべる(おはなしする)おにんぎょうもほしいな~

🍄 たかはしふうかちゃん (高橋風花・5歳) から父・直人さん、母・マリカさんへ

パパはさむいのに、いつもがんばっておしごとしてくれてありがとう。おやすみのときはこうえんにもつれていってくれるから、だいすき!

ママ、いつもおいしいおりょうりをつくってくれてありがとう。とくいのすきやきやおなべりょうりのとき、ふうかがおこめをあらってごはんをたいてあげるよ! おりょうりのてつだい、だいすきだから、いろいろおしえてね!

「人間生涯“夢”を」



嵯峨 初三郎さん (上区・83歳)

生涯を振り返る

《339》

★...4代目として14歳で鍛冶屋を継ぎました。若い時から病気で苦しんできました。40歳ぐらいから健康であれば、70、80歳まで生きられると思います、健康には気を付けて暮らしてきました。今まで、書道、短歌、カラオケ、庭造りなど、いろいろな趣味に没頭してきました。★...若さの秘けつは笑顔を持って人と交流すること。「人間生涯夢を追い求めて行きたいもの」と思っています。終わりに私の好きな短歌を紹介します。百年の時を吸い取る鍛冶の家土のなかまで鉄錆の匂す

文芸の世界

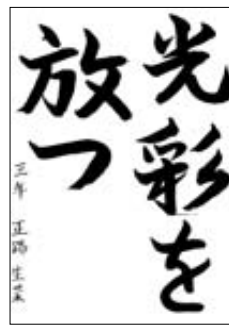
川柳愛好会
11月例会作品

課題 悲喜・断ち切る・リストラ・子が渡る

行く道を断ち切るような事件おき
リストラと言えば背筋が寒くなり
親離れ世代交代子が渡る
幾山河人生悲喜の歩みかな
友人の誘い断ち切る北の風
派遣切れ明日は我が身と風吹くか
北野多佳子
今日からだ甘え断ち切る受験生
リストラに根回しあるかも知らぬまま
裕梨
今日もまた悲喜もごもりの里の秋
子が渡る世間の風に防風林
加差野静浪
生き残るためと言ってもむごい首
風通しよくして置かねば子等困る

「光彩を放つ」
3年 正路 生奈さん

行書がとて
も難しかったです。
「光彩」という
字をつましく書
くことができました。



「以心伝心」

2年 嘉村 佳那恵さん

「伝」という
字の点の付け
方が難しかった
です。「心」と
いう字の1、2
画目を気を付
けて書きました。



「流星」
1年 柗谷 美祈さん

行書で書く
のはこの字が
初めてで、と
ても難しかった
です。全体の
バランスを意
識して書き
ました。



ぼくとわたしの
作品展

普代中
習字

『3人で普代浜を散歩したい』

MY FRIEND Vol.43

友達の友達は...みんな友達。そんな思いを込めて自分の友人知人をリレーで紹介するマイフレンドコーナー。今月は中央区出身の多田(旧姓・松頭)瞳さん(26)と和徳さん(26)夫妻です。



和徳さん(左)と瞳さん

盛岡市の高校を卒業後、宮城県仙台市の専門学校に進み、仙台市内に就職した瞳さん。旦那さんの和徳さんと友達の紹介で知り合い、一昨年の1月に結婚し、瞳さんは現在妊娠9カ月。出産のため普代の実家に帰って来ていると聞いています。

「久々に普代浜に来ました。懐かしいし、何かおちつきますね」と瞳さん。和徳さんに普代の印象を尋ねると、「自分は釣りが好きなので、海が近くにあつていいですね。刺身が新鮮でおいしいです。これで高速道路が通っていたら最高ですね(笑い)」と話します。

「今、時間が過ぎるのがとっても遅く感じます。この間まで仕事をしていたので、こんなに長い休みは初めてです。人と接する仕事だったので、普代にいる間ウォーキングしたり、家の手伝いをしたりして、ゆっくりにしたいと思っています。そして、2月には元

気な赤ちゃんを生みたいと思つています。

「子どもが生まれたら、3人で普代浜を一緒に散歩したいですね」と和徳さんと瞳さんは話していました。

.....Q&A.....
—時間とお金があったらしてみたいことは。
新婚旅行で行ったヨーロッパにもう一度行きたい! —村へいと言。
いつまでも変わらぬ自然を残してください。

—次号には、誰を紹介してくれますか。
現在、探しています。

図書室へ行こう

本はともだち

- ★開室時間…午前9時～午後5時
- ★休日…毎週月曜日
- ★電話・ファックス…36-1044

◇幼児向け

『借りぐらしのアリエッティ』

人間に見られてはいけない。それが床下の小人たちのおきてでした。ひっそりと暮らしていた小人の少女・アリエッティ。ある日人間の少年に姿を見られてしまい…。



ノートン・メアリー 徳間書店

『チームひとり』

◇小学生向け

二子の二人は、卓球でチームを組んでいましたが、サッカー部を選んだ大洋と別れ、広海は卓球部に入部。そこでは兄と違うタイプの人、思わぬ提案をするコーチと出会い…。



吉野 万理子 学研教育出版

◇中学生～一般向け

『かけっこが速くなる』

外遊びの機会が減少した今、小さいうちにママが子どもを「その気」にさせることが大切。学校では教えてくれないかけっこ、縄跳び、逆上がりのコツを楽しく教えてくれます。



野村 朋子 主婦の友社



仲村妃織さん (京都府京都市・10歳)

長い髪がすてき!



富山瞳莉ちゃん (中央区・5歳)



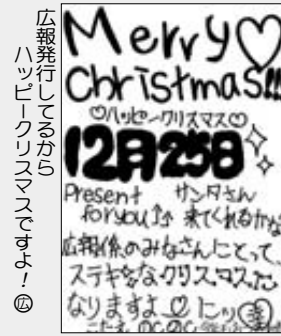
谷地真鈴さん (力持・9歳)



仲村威慧くん (京都府京都市・9歳)



谷地一星くん (力持・6歳)



仲村妃礼さん (京都府京都市・12歳)

みんなのイラスト展

木の葉も残り少なくなり、寒い時季がまたき

広報係

のスクールガード日記。先日、普代小の子どもたちからスクールガードにお礼の手紙が届きました。そのたどたどしい字で懸命に書いた文章に胸が熱くなりました。私たちはこれからもずっとずっと君たちを見守っています。もうすぐ冬休みです。寒さに負けずに頑張ってください。

鍋梨次郎さん(65歳・緑区) 温かいお便りありがとうございました。スクールガードの皆さんにはいつも頭が下がる思いです。これからもよろしくお願ひします。



声・お便り

広報係

ました。いつも姉と共にお世話になりました。いつか姉と共にお話さなう。いつも待っていてくださる皆さんのためにも頑張ります。

先日はお忙しい中、職場体験では皆さまに大変お世話になりました。お陰さまであいさつや「誰のための何のための広報なのか」を真剣に考えながら仕事をしています。特に「積み重ねが大事」という言葉が印象に残っています。何事にも経験を積み重ね常に考える人間になりたいです。

本当にありがとうございます

住)

福山せつ子さん(盛岡市在住)

【応募の方法】

右下の2つの絵に違うところが3カ所あります。あくけのうち、間違っている3カ所を探してみてください。

広報クイズ

広報係

皆さんには偉そうなお話を言ってしまうかもしれませんが、こんな小学生でも少しは役に立つたのかなと、うれしく思います。これからも皆さんの若さあふれる頑張りを広報員だいで届けたいと思っています。

広報係

- さい。紙上で紹介します。どしどし応募ください。
- あて先…〒028-8392 普代村9-13-2 普代村役場広報クイズ係
- 締め切り…1月10日(月)当日消印有効
- 11月号の答え…①C、②C
- 応募総数…6通で6人が正解でした。抽選の結果、次の5人に図書カードをお送りします。おめでとうございます。
- 当選者…①仲村威慧くん(京都府京都市・9歳) ②谷地一星くん(力持・6歳) ③仲村妃礼さん(京都府京都市・12歳) ④谷地真鈴さん

畳工事一式、内装工事、ふすま・障子・屏風張替

沢口畳店

普代村13-12-8 TEL・FAX 0194-35-2561

※イラスト・金子望さん(紫波町在住)・茂市出身

元絵	間違い探し用
	あ い う え お か き く け

※注 色の濃さ、文字(あ~け)の下に隠れている部分は間違いに含みません

祝 成人 成人記念撮影

予約受付中!

肖像写真技能士 特典付

カトウ写真館

普代村中央区

キャビネ判以上焼き付けの方マイカレンダープレゼント!

撮影のご予約・お問合せは ☎35-2594

味処 ながさわ

お飲み物プラン

- 飲み放題A 1人…980円 (3人～、1時間)
- 飲み放題B 1人…1,800円 (5人～、2時間)

※飲み放題ご利用の方はお料理を1人最低1品ご注文いただきます。

12/24(金)～26(日) クリスマス【3日間限定】

スペシャル・ビザ ¥850

20%増量!でお得!

ご注文は電話で!(10:00～18:00) (TEL.080-6037-7008) 配達OKです! お早め!

●営業時間 18:00～23:00 ●定休日 日曜・祭日

普代村中央区 電話 0194-35-2313

毎月2日、12日、22日

ポイント2倍デー

(有)まるに ☎35-2201

駅前食堂 キッチン栄

「新年会」予約受付中

飲み放題、食べ放題(1人…3,000円、2時間半)…8名様より(料理はおまかせ)(焼酎、ビール、サワー、日本酒)

食べ物派(1人…2,000円、飲み物別料金)…6名様より(小鉢、オードブル、鍋物、焼き物、揚げ物)

食べ物派(1人…1,500円、飲み物別料金)…6名様より(小鉢、オードブル、焼き物、揚げ物)

営業時間: 昼11:30～14:00 夜17:30～22:00 日・祝日11:30～20:00
定休日: 水曜日 ☎35-2312

お誕生おめでとう(2人)

大上 直紀(嘉一・明子) 太田名部
太田きらら(一寿・奈津美) 太田名部

ご結婚おめでとう(4組)

大橋 徹) 久慈市
二又 冨夏) 白井
前川 郁也) 白井
三上 恵美) 田野畑村
田家 隆哲) 久慈市
金子真貴子) 黒崎
金子 昭人) 黒崎
片座 麻美) 黒崎

お悔やみ申し上げます(2人)

大上 勤 太田名部 51歳
野田口ヒロ子 旭日区 85歳

交通安全対策情報

- 村内の交通事故《11月》
人身事故 0件(3件)
物損事故 1件(31件)
※()内は1月からの累計
- 救急車の出動回数《11月》4回
- 飲酒運転検挙状況(県交通安全対策協議会調べ)
県内34市町村中ワースト順位…**20位**
(10月31日現在)
県内の検挙者数《10月》39人

人口と世帯

	前月比	前年比
人口	3,085人 (-8)	(-44)
(男)	1,507人 (-1)	(-22)
(女)	1,578人 (-7)	(-22)
世帯	1,121戸 (-4)	(±0)

普代村ふるさと応援基金への寄付状況(11月10日現在)

22年度分 **410,000円** 累計 **1,563,000円**

39件(村内30件、県内1件、県外8件)

普代村ふるさと応援寄付の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧ください。また、総務課(☎0194-35-2111、内線115)までご連絡ください。

自動車事故相談 お気軽に

社団法人日本損害保険協会東北支部では、自動車事故に関する相談を次の通り行っています。相談には専門の相談員が応じ、相談料は無料です。お気軽にご相談ください。

▶相談日…月曜日～金曜日(祝日除く) 9:00～12:00 13:00～17:00
▶相談先…盛岡自動車保険請求相談センター(☎019-651-4495)
※来訪での相談は、事前に予約が必要です。



困っていたら相談を!

4件とも事前に予約が必要です

久慈地区法律相談

▶期日…1月7日(金)、26日(水)▶時間…10:30～15:30▶場所…久慈市役所
▶予約先…久慈市市民課生活安全グループ(☎0194-52-2111)

多重債務者相談

▶期日…1月13日(木)、27日(木)▶時間…10:00～15:00▶場所…久慈地区合同庁舎5階第3会議室▶予約先…県北広域振興局消費生活相談室(☎0194-53-4981)

精神保健福祉相談

▶日時…1月21日(金)13:30～▶場所…久慈保健所(久慈地区合同庁舎2階)
▶予約先…久慈保健所保健衛生課(☎0194-53-4987、内線246、247)

エイズ相談・検査、肝炎ウイルス検査、骨髄バンク登録

▶日時…1月11日(火)①エイズ相談・検査、肝炎ウイルス検査:14:00～16:00、17:00～19:00②骨髄バンク登録:14:00～16:00▶場所…久慈保健所(久慈地区合同庁舎2階)▶予約先…久慈保健所保健衛生課(☎0194-53-4987、内線246、247)

除雪にご協力を!

本格的な降雪を控え、通勤・通学の安全な交通確保のため、除雪作業時には次の点にご協力をお願いします。

- ▶道路に車や物を置かない▶自宅前は各自で除雪をしてください
- ▶雪や氷を道路に出さないでください▶除雪車に注意してください
- ▶通学路や生活道路の除雪にご協力ください
- ▶問い合わせ先…役場建設水産課(☎35-2116)

農道の愛称を募集します!

村では、現在建設している岩泉町小屋敷から田野畑村甲地、田代を経由して普代村鳥居に至る約16kmの農業道路(森林総合研究所事業主体)の愛称を募集しています。

来年3月には工事が完了し、4月から通行できます。応募方法などは次の通りです。



- ▶応募資格…住所・氏名を書いてはがきまたはFAXで応募してください。
- ▶締め切り…平成23年1月14日(金)
- ▶その他…採用された人には5千円分の図書カードを差し上げます。
- ▶応募・問い合わせ先…役場農林商工課(住所:普代村9-13-2、☎35-2115)

平成23年 成人式

1月5日(水) 午後1時30分～
自然休養村管理センター



昨年の成人式

教員を目指す奨学生を募集

九戸地方育英会では、岩手県の教員を志望する大学生に奨学金を貸与する奨学生を次の通り募集します。

▶応募資格…①岩手

県の教員を志望している学生②学業成績に優れ、品行方正の方

③心身ともに健康な方④久慈地区(久慈市、普代村、洋野町、野田村)に本籍を有する人

▶採用者数…最大4人

▶貸費額…月額3万円。卒業後に貸費した月額の2分の1以上を毎月または年賦などの方法で8年以内に全額償還するもの。

▶申込書提出期限…3月25日(金)

※申込書、戸籍謄本など提出書類の詳細については、村教育委員会事務局(☎35-2711)、または九戸地方育英会事務局(久慈市教育委員会総務学事課内☎0194-52-2111、内線434)にお問い合わせください。

農業者年金の加入者募集

村農業委員会では、農業者年金への加入を推進しています。農業者年金は、①国民年金第1号被保険者で、②年間60日以上農業に従事する、③60歳未満の人ならどなたでも加入できます。

少子高齢化時代に強い積立方式の終身年金で、80歳までの保障が付き、税制面の優遇措置や農業の担い手には特別な支援があります。

詳しくは村農業委員会(☎35-2115)まで。

ご存じですか?

必ずチェック! 最低賃金

岩手県の産業別最低賃金が平成22年12月26日(一部除く)から下表の通り改正されます。

すべての事業主は、雇用する労働者(パートタイム労働者、アルバイトを含む)に最低賃金以上の賃金を支払わなければならない。

業種	時間額	発効日
鉄鋼業、金属線製品、その他の金属製品製造業	717円	12/26
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業	701円	
光学機械器具・レンズ、時計・同部分品製造業	705円	
各種商品小売業	708円	3/1
自動車小売業	726円	12/26
鉄鋼業	715円(日額5,714円)	

▶問い合わせ先…岩手労働局賃金室(☎019-604-3008)

医科・歯科診療所の休診

12/29(水)～1/3(月)
休診中の病気やけがなど場合は、休日当番医などでの受診をお願いします。

社会体育館、管理センター、B&G海洋センター、村図書室も12月29日～1月3日までお休みになります。

キャッツアイ CAT'S EYE

今年1年お世話になりました。来年もよろしくお願いたします。

*OPEN 19:00~
*CLOSE SUNDAY
*TEL 090-7061-5337
0194-35-3625



好評発売中!!

スティックチーズ 210円
チーズスツェ 110円

※スティックチーズは冷凍販売しています。

中央区 三船製菓 ☎35-2020

普代ポイントカード会からのお知らせ!!

「毎月10名様にラッキーチャンス、2,000円の商品券が当たります」10月当選者は以下の方々です。

黒畑信子様(力持) シルクロード様(緑区) 下道真理子様(緑区) 蛇走忠一様(芦生) 高屋敷真由美様(上区) 日野沢健治様(上区) 古馬ヤエ子様(中央区) 山崎順子様(白井) ほか2名様

普代ポイントカード会 普代商工会内 ☎35-2132

年末年始謝恩セール

期間

平成22年12月20日(月)から
平成23年1月10日(月)まで

ポイント2倍セール

◎冬ですよ ノロウイルスにご用心

1月のこんなこと、あんなこと

日	月	火	水	木	金	土
26 (先勝) ・普代児童館2学期終業式	27 (友引) 固定資産税第3期納期限 国民健康保険税第4期納期限	28 (先負) 			31 (赤口)	1/1 (先勝) 元旦
	4 (赤口) 官庁仕事始め ・冬期特定健診・がん検診、㊟	5 (先勝) 普代村成人式 (13:30、㊟) ・ヘルスアップ教室(10:00~12:00、㊟) ・新年交賀会(17:00~、くろさき荘)	6 (友引) ・ジフテリア、百日ぜき、破傷風・麻疹、風しん1期予防接種(受け付け13:30~13:45、㊟)	7 (先負)	8 (仏滅) ・なかよしランド(9:00~12:00、㊟)	
9 (大安) 普代村消防団出初式(14:00~、役場駐車場ほか)	10 (赤口) 成人の日	12 (友引) ・ヘルスアップ教室(10:00~12:00、㊟)			15 (大安) ・なかよしランド(9:00~12:00、㊟) 三鉄利用促進デー	
 「変わった大根だべ!!」	18 (友引) ・普代中3学期始業式	19 (先負) ・2歳児健康教室(受け付け12:00~12:15、㊟) ・ヘルスアップ教室(10:00~12:00、㊟)	20 (仏滅) ・普代小3学期始業式	21 (大安) ・普代児童館3学期始業式	22 (赤口) ・なかよしランド(9:00~12:00、㊟)	
23 (先勝) 	26 (仏滅) ・2歳6カ月児歯科教室(受け付け12:00~12:15、㊟) ・ヘルスアップ教室(10:00~12:00、㊟)	27 (大安) ・乳児健診(受け付け12:00~12:30、㊟) ・ブックスタート	28 (赤口) ㊟は保健センター ㊠は北緯40度野球場 ㊡は社会体育館 ㊢は管理センター ㊣はふれあい交流センター ㊤は医科診療所 ㊥は子育て支援室 ㊦は海洋センター			

「今、ここから始めよう。」「僕が
そう決心したのは、この本を読み
終え、最初に思った事だ。
お笑い芸人カニング中島忠幸
の二年間にわたる闘病生活をもと
に、妻の真奈美さんが書き記した
この本は、想像以上に過酷で、ど

●中学校の部

「家族の宝物」を読んで

普代中学校3年 すなごう 砂合 翔君



ここがあったかくて、中島忠幸とい
う人がよく分かるものだった。
二〇〇四年十二月八日、白血病
と宣告されたから書き続けた日記
は五冊のノートと、六冊目の四ペ
ージで終わっていた。「治る事を
信じ、芸人として復帰する事を自
標に抗ガン剤投与、放射線照射を
繰り返し、さい帯移植を二回も行
った。その間には危篤状態に陥り
再発を繰り返すなど何度も生死を
彷徨った」
このように書かれていても、僕
には正直、白血病の恐ろしさは、
全く分からない。しかし、もしも自
分や自分の家族が「ガン」と宣告
されたら僕は受け入れる事が出来
るだろうか。逃げられない現実
に立ち向かっていけるだろうか…。
今の僕なら、ただ泣いてばかりで
何をやる気も湧かないだろう。

「僕ら、特別、カニングに興味があ
った訳ではないが、『エンタの
神様』という番組で、カニング竹
山が一人ステージに立ち携帯電話
で入院中の中島さんに電話する場
面を見た記憶がある。いつもと変
わらない竹山の暴走漫才がとても
おもしろく、中島さんが病气だと
いう事は深く考えなかった。
血液のガンである白血病。ガン
化した白血球が異常なほど増え、
赤血球の色で赤くみえるはずの血
液が白く見える事から、その病名
が付けられたらしい。治療の一
つである抗ガン剤を用いた化学療法
を開始する事により、倦怠感、嘔
吐、下痢、脱毛、肝障害、口内炎
などの強い副作用。
どんなに辛い治療も、泣き事一
つ言わずに頑張った中島さん。い
つでも、どんな時でも、いつも笑っ
ていた中島さん。本に載っていた
家族写真の中島さんは僕の記憶に
残っている中島さんとは別人と思
えるほど、顔がパンパンにふくれ
あがっていた。それでも僕には中
島さんが、とても幸せそうに見え
た。それと同時に、白血病という病
気が怖いと思うようになった。
日記には治療内容や、その時の
気持ちを書かれていた。そして家
族の事。仮退院した時、親子三人
で川の字になって寝た事など。僕
には些細な事のように思うが、中
島さんにはとても幸せな時間だっ
たと思う。

どんな時でも一生懸命に全力で生
きていた中島さんは、いつも前向
きで、どんなに自分が最悪な時で
も、まわりの人達に気をつかって、
たった「パーセント」の生存率だ
としても病気に立ち向かっていっ
た。けっして口に出さなかった
「死」への恐怖は想像を絶するも
のだったと思う。
「この日記を家族の宝物のにし
てほしい。」
そう話した中島さんの想いは父
親として子供に、夫として妻に、
そして芸人として、大勢の人達に
残してくれたたくさんの方のメッセ
ジがいつまでも心の中で生き続け
ると思う…。
もし、今の僕が誰かに、「今を精
一杯生きてますか?」と聞かれたら
、答える事は出来ないだろうと
思う。何か目標がある訳でもなく、
守るものもない。普通に朝起きて
夜になり、また朝になる。ただ時
間だけは過ぎて行く毎日。今のま
までは駄目な事だけは分かっている
いたが、一歩が踏み出せずにいた。
この本に出会って背中を押された
ような、そんな気持ちになった。
まずは健康である事に感謝し、
誰のためでなく自分のために、今
を精一杯生きようと思う。今、こ
から…。
(原文のまま12年時に受賞し
た作品です)

読書感想文コンクール・優秀賞作品紹介⑥

使い捨てコンタクトレンズ **ポイント2倍**
年内お早めに!

2011祝・ご成人記念写真 **ポイント2倍**
ご予約受付中!

普代村 **まっば時計店** ☎35-2276

オフィス用品を **明日くる**
翌日お届け! **アスクール**

オフィス用品デリバリーサービス! 無料カタログ申込は下記まで

最北街伝説の地 **のだ事務機**
鶴島神社前

☎0194-36-1030 FAX0194-35-3016
岩手日報普代販売センター 金子新聞店

2011年7月24日 アナログ放送終了

地デジ DIGITAL

映らないときは、坂下電化センターまで。

(有)坂下電化センター TEL 35-2138

塗装

茂石総業 代表 茂石祐次 ☎35-2933



普代児童館（高屋敷眞作館長、園児54人）の生活発表会が11月27日、同館のホールで行われました。この日のために練習してきた園児たちは、ときどき照れながらも、ステージ狭しと一生懸命歌ったり、踊ったり。ホールを埋め尽くしたおじいちゃんやおばあちゃん、お父さんお母さんら約70人は、元気いっぱいの園児たちの演技に盛んに拍手を送っていました。上区の嵯峨トシさん(77)は、「皆さんのおかげでおっきくなって…、まごはめごい！」と感激していました。



「ぼくのなまえは…」



年少組も元気にダンス



セクシー衣装でジャズダンス



「決まったぜ！ おれ！」



大きな声を出して頑張りました



振り袖姿がおしとやか



年長組は最後の生活発表会。全員でオペレッタ「おしゃべりな たまごやきを」を元気いっぱいに発表しました

広報ふだい12月号 No.583

発行日 平成22年12月22日
編集 普代村役場 総務課
〒028-8392
岩手県下閉伊郡普代村
第9地割字銅屋13番地2
TEL 0194-2111 FAX 0194-3017
ホームページ <http://www.vill.fudai.iwate.jp>
電子メール fudai@vill.fudai.iwate.jp
印刷 有限会社 九戸印刷

▼平成17年の8月、医科診療所の「語り部屋」で初めて下道茂子さんの体験談を聞きました。それ以来、軽い気持ちで機会があったらいつかお話を聞きたいと思っていました。しかし、今回の特集「茂子」にもあるように、茂子さんの体験は想像を絶するものでした。そして、人の強さや弱さ、優しさ、温かさ、健康でいることの大切さを考えさせられるものでした。ご協力いただいた皆さんに感謝いたします。▼さて、ふるさとCM大賞では、うれしい2年連続の入賞。時間のなかでの制作でしたが、手伝ってくれた普代小や普中生、ありがとう！▼今年ももう残り少なくなりました。このフレーズも、7回目（7年目）になりますが、今回発行が遅れましたことをおわびいたします。また、来年も皆さん一人一人の声を大切に「広報ふだい」でありたいと思います。それでは皆さん、良いお年を。
(森田 ☺)

ホッと一息